

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理基礎論 10		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	加藤 裕史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
心理・医療・福祉分野で必要とされる基礎的な医学知識の習得を目指します。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70% 出席点20% 提出物・受講態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「目でみるからだのメカニズム」医学書院 講義内で配布するプリント類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
基礎医学的知識は医療と福祉の分野で働く上で多部門との連携を果たすために必要な知識です。 覚える事が多い科目ですので完全な習得を目指しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	細胞の機能と名称について理解し説明できるようになる。	PC、プロジェク ター、配布資料	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。	
		各コマに おける 授業予定	細胞と組織 人体を構成するものの名称・細胞の構造と機能 上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	発生についての基礎理解ならびに、身体各部名称について説明できるようになる	PC、プロジェク ター、配布資料	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。	
		各コマに おける 授業予定	発生 胚葉の種類・身体各部の名称・姿勢などの名称			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	呼吸器系の概要と働きについて説明できるようになる 心臓の構造と機能について説明できるようになる	PC、プロジェク ター、配布資料	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。	
		各コマに おける 授業予定	臓器の位置・名称・機能 呼吸器、循環器①			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中枢神経系関連した循環器系の概要と機能について説明できるようになる	PC、プロジェク ター、配布資料	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。	
		各コマに おける 授業予定	臓器の位置・名称・機能 循環器② 中枢神経系の血管系			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	消化器系の概要と働きについて理解し説明できるようになる	PC、プロジェク ター、配布資料	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。	
		各コマに おける 授業予定	臓器の位置・名称・機能 消化器、泌尿器			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系と泌尿器系の概要と働きについて理解し説明できるようになる	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臓器の位置・名称・機能 消化器、泌尿器		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系と泌尿器系の概要と働きについて理解し説明できるようになる	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臓器の位置・名称・機能 消化器、泌尿器		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンの機能と名称を覚え説明できるようになる	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	内分泌系の位置・名称と仕組み、ホルモンの機能と名称 生殖器を含む内容の理解		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体を構成する主要な骨格系の位置と名称を覚える	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	骨格系の位置と名称 体表からの触知ポイント		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な身体の機能について理解ができるようになる	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	筋肉系の位置と名称 体表からの触知ポイント		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な身体の動きと作用する筋肉名を覚える。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	筋肉系の位置と名称 体表からの触知ポイント		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の概要と働きについて理解し名称を学ぶ。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(脳・脊髄系)、末梢神経系、感覚器官 神経生理的知識、疾患を含めた内容の理解 ①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の概要と働きについて理解し名称を学ぶ。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(脳・脊髄系)、末梢神経系、感覚器官 神経生理的知識、疾患を含めた内容の理解 ②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の概要と働きについて理解し名称を学ぶ。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(脳・脊髄系)、末梢神経系、感覚器官 神経生理的知識、疾患を含めた内容の理解 ③		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容のまとめとアウトプット	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	これまでの学習内容のまとめとアウトプットを通じて学習内容の総括をする		